

氏名 関 藤 典 子

授与した学位 博 士

専攻分野の名称 医 学

学位授与番号 博 乙 第 2755 号

学位授与の日付 平成 6 年 6 月 30 日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者

(学位規則第 4 条第 2 項該当)

学位論文題目 慢性骨髄性白血病並びに周辺疾患の分子生物学的解析

論文審査委員 教授 太田 善介 教授 赤木 忠厚 教授 岡田 茂

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

慢性骨髄性白血病 (CML) では相互転座  $t(9;22)(q34;q11)$  の結果生じる  $Ph^1$  染色体が特徴的であり, 22番染色体の切断点は5.8kbのbreakpoint cluster region (bcr) に集中している。CMLとその周辺疾患の関係を明確にするためSouthern blot analysisにてbcr再構成を検討した結果, standard  $Ph^1$ 陽性 ( $Ph^{1+}$ ) CML54例中52例, variant  $Ph^{1+}$ CML 3例 [46, XX,t(9;22;13)(q34;q11;q22)。46,XX,t(9;22)(q21;q11)。46,XX t(9;22)(q34;q11), inv(9)(9q22;22q13)] 全例でbcr再構成を認めた ( $bcr^+$ )。  $Ph^{1+}$ CMLの病期とbcr内切断部位との関連は認められなかった。若年型CML (JCML) 2例, 慢性好中球性白血病 (CNL) 3例, 慢性骨髄単球性白血病 (CMML) 9例, 真性多血症 (PV) 8例, 本態性血小板血症 (ET) 15例, 原発性骨髄線維症 (MF) 4例ではbcr再構成は認められなかった ( $bcr^-$ )。  $Ph^1$ 陰性 ( $Ph^{1-}$ ) CML/unclassified chronic myeloproliferative disorders (UCMPD) 5例では, 2例で  $bcr^+$ , 3例で  $bcr^-$ であり,  $Ph^{1-}bcr^-$ CMLの存在が強く示唆された。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は慢性骨髄性白血病 (CML) とその周辺疾患の関係を明確にするため, Southern blot analysisにて,  $Ph^1$ に關係するbreakpoint cluster region (bcr) 再構成を検討したものである。その結果, standard  $Ph^1$ 陽性 CML54例中52例, variant  $Ph^{1+}$ CML 3例全例でbcr再構成を認めた。  $Ph^{1+}$ CMLの病期とbcr内切断部位との関連は認められな

かった。若年型CML慢性好中球性白血病などはbcr再構成は認められなかった。これは関連疾患の診断上などで価値ある業績であり、よって本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。